

バランスシート 行政コスト計算書

市では、行財政改革、財政情報の公開の一環として、バランスシートと行政コスト計算書を作成しています。バランスシートは資産や負債の状況を示すもので、ある一時点における財政状況を明らかにするもの、また、行政コスト計算書は、行政サービスを提供するのに要する費用とその財源を明らかにするものです。バランスシート・行政コスト計算書に関する資料は、市政情報課（やまびこ）・各図書館でご覧いただけます。また、町田市ホームページ（<http://www.city.machida.tokyo.jp>）にも掲載しています。（12月中旬頃更新予定）

バランスシート

(単位:億円)

借 方				貸 方			
	16年度末	17年度末	増 減		16年度末	17年度末	増 減
【資産の部】				【負債の部】			
1. 有形固定資産	4,343	4,363	20	1. 固定負債	919	888	31
うち土地	2,631	2,682	51	(1) 地方債(市債)	643	611	32
2. 投資等	211	211	0	(2) 債務負担行為	-	4	4
(1) 投資及び出資金	35	35	0	(3) 退職給与引当金	276	273	3
(2) 貸付金	0	1	1	2. 流動負債	64	67	3
(3) 基金	176	175	1	(1) 地方債(市債)翌年度	64	67	3
特定目的基金	145	143	2	償還予定額	-	-	0
土地開発基金	30	30	0	(2) 翌年度繰上充用額	-	-	0
定額運用基金	2	2	0	(3) その他	-	-	0
3. 流動資産	114	112	2	負債合計	984	955	29
(1) 現金・預金	81	81	0	【正味資産の部】			
財政調整基金	60	49	11	1. 国庫支出金	401	401	0
減債基金	-	-	0	2. 都支出金	313	311	2
歳計現金	21	31	10	3. 一般財源等	2,971	3,019	48
(2) 未収金	33	31	2	正味資産合計	3,685	3,731	46
資産合計	4,668	4,686	18	負債・正味資産合計	4,668	4,686	18

四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。

用語説明

資 産	土地や建物、備品等の行政サービスを提供するために長期にわたって使用されるものを「有形固定資産」、目的基金等を「投資等」、現金や預金等を、「流動資産」に分類しています。
負 債	一般的に借金にあたるものです。翌年度中に返済されるものを「流動負債」、それ以外を「固定負債」といいます。
正 味 資 産	資産から負債を差し引いたものです。資産を形成するために使用した、市民の皆さんから納めていただいた税金等です。
退 職 給 与 引 当 金	在職している職員が年度末に全員退職すると仮定した場合に支払うべき退職手当の総額をいいます。
人にかかるとコスト	議員や職員に支払われる人件費です。
物にかかるとコスト	委託料、備品購入費等の物件費、施設の維持補修費、有形固定資産の減価償却費です。
移転支的的なコスト	法等に基づき支給する扶助費、市民や団体等への補助金、国保会計や下水道会計等への繰入金です。
その他のコスト	借入金の支払利息、不納欠損額です。
減 価 償 却 費	土地以外の有形固定資産の価値がその年に減少したと認められる額です。
不 納 欠 損 額	破産、倒産等により収納できなかった税金、使用料等です。

行政コスト計算書

(単位:億円)

	16年度	17年度	増 減
1. 人にかかるコスト	239	224	15
(1) 人件費	207	208	1
(2) 退職給与引当金繰入等	31	16	15
2. 物にかかるコスト	259	267	8
(1) 物件費	156	166	10
(2) 維持補修費	13	11	2
(3) 有形固定資産減価償却費	91	90	1
3. 移転支的的なコスト	460	490	30
(1) 扶助費	225	233	8
(2) 補助費等	109	111	2
(3) 繰入金	115	134	19
(4) 普通建設事業費(他団体等への補助金等)	11	12	1
4. その他のコスト	24	19	5
(1) 公債費(利子のみ)	18	16	2
(2) 債務負担行為繰入	-	-	-
(3) 不納欠損額	5	3	2
行政コスト合計	982	1,000	18

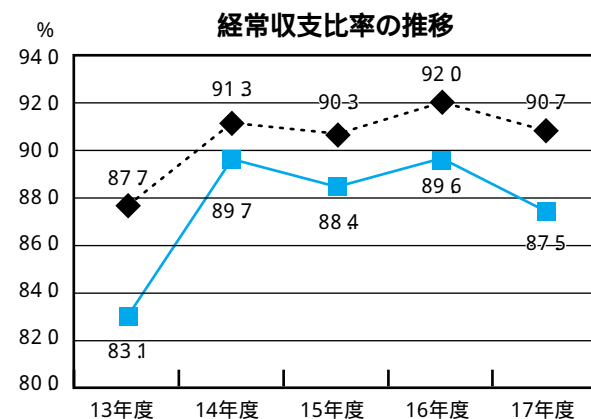
【収入項目】

	16年度	17年度	増 減
1. 使用料・手数料等	33	41	9
2. 国庫(都)支出金	203	213	10
3. 一般財源	748	779	31
収入項目合計	984	1,033	49

四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。

財政構造指標

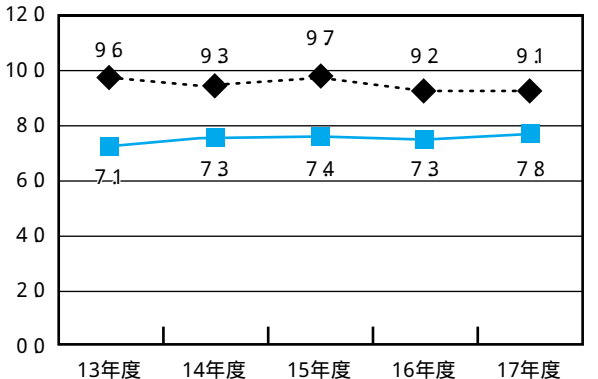
市の財政構造を判断するための指標に、経常収支比率と公債費比率があります。平成17年度までの比率の推移は、右表のとおりです。



【経常収支比率】

毎年必ず支払う「経常経費」のために、市税などの「経常一般財源」がどのくらい充てられたかを示す比率(%)です。この比率が低いほど自由に使える資金が多いことになり、新たな財政需要に弾力的に対処することが可能となります。一般的に70~80%の範囲に分布していることが望ましいとされています。

公債費比率の推移



【公債費比率】

公債費の一般財源に占める割合(%)です。毎年の償還金が市の財政を圧迫していないかを示す指標であり、この比率が高くなると財政硬直化の原因となります。通常は10%を超えないことが望ましいとされています。

感染症トピックス

問 東京都町田保健所 ☎7222・06221
町田市健康課 ☎7255・5471

インフルエンザについて

【症状】
普通のかぜと異なり、38以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強く、のどの痛みや咳などの症状も見られます。

【予防のポイント】
インフルエンザの感染は、インフルエンザにかかった人の咳やくしゃみなどと共に放出されたウイルスを吸い込むことで起こります。このため、以下の点に心がけることが大切です。

- ウイルスの侵入を防ぐ
- 手洗い、うがいを徹底する。うがいや難しい場合は口をゆすぐ。
- また、外出時にはマスクを着用し人ごみを避ける。
- 体力をつけ、免疫力を高める
- 十分に睡眠をとり、バランスの良い食事を心掛ける。
- 室内の環境を整える
- 換気し心掛け、加湿器などを使って適度な湿度を保つ。

【予防接種について】
流行前のワクチン接種は、インフルエンザにかかった場合の重症化防止に有効であるとされています。予防接種を希望する場合は、かかりつけ医と十分相談してから受けるようにしましょう。

なお、抗ウイルス薬は、医師による診察の上で処方されるものです。インフルエンザが疑われる場合は早めに医療機関を受診すると共に、咳などの症状がある場合は必ずマスクを着用するようにしましょう。

鳥インフルエンザについて

鳥インフルエンザは、通常、鳥からヒトに感染することはありません。平成15年以降、アジアを中心に報告されている高病原性鳥インフルエンザのヒトへの感染は、ウイルスに感染した鳥の内臓や排泄物に接触するなど密接な接触があった場合に起こっています。

【新型インフルエンザについて】
鳥インフルエンザウイルスが偶発的にその性質を変え、ヒトへの感染力を持つようになった場合、ヒトからヒトにうつる「新型インフルエンザ」が出現する可能性があります。現時点では新型インフルエンザは確認されていませんが、その出現が懸念される状況が続いています。

これに対し東京都では行動計画を策定し、出現に備えた体制づくりを進めています。詳しい情報は東京都福祉保健局ホームページ <http://www.fu.kushinoken.metro.tokyo.jp/> でもご覧いただけます。